

まちづくり交付金 事後評価シート
神岡地区

平成20年10月

秋田県大仙市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	秋田県	市町村名	大仙市	地区名	神岡地区			面積	207				
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年6月～平成21年3月	交付対象事業費	1,922百万円	国費率	0.39						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	都市計画道路(1路線)、市道(4路線)、公園(中央公園および街区公園2箇所)、地域生活基盤施設(駅前広場、交通広場、観光案内板、公園案内板)、高次都市施設(地域交流センター)										
		提案事業	幼保一体施設、高齢者生活支援ハウス、宅地開発整備、神宮寺駅舎、まちづくり推進協議会、中央公園満足度調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	神宮寺街区公園	事業中止		影響なし							
		提案事業	神宮寺駅地域交流センター(地域交流センター部分)	事業中止		神宮寺駅舎等年間利用者数への影響あり。計測手法の見直し実施。							
	新たに追加した事業	基幹事業	中央公園満足度調査	事業効果分析に移行		影響なし							
		提案事業	事業効果分析	中央公園満足度調査を含め、主要事業のモニタリングとして追加		影響なし							
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	指標1	下川原地区の定住人口	人	0	H16	200	H20	38	53	△	あり	高齢者生活支援ハウスの事業中断を受け、1年以内の達成見込みはない状況ではあるが、宅地造成により下川原地区の人口は増加しており、神岡地区全体においても人口抑制に寄与している。(指標6)	H21.3.31
	指標2	中央公園利用満足度	%	16.6	H16	33.2	H20	-	61.5	○	あり	計画段階からまちづくり推進協議会の意見を聞くなどし、地域ニーズにあわせた公園施設整備ができ、またあわせて良好なアクセス性を確保することができたことで、事業効果を期待以上に発揮した。	H21.8.31
	指標3	中央公園利用者数	人/年	0	H16	28,000	H20	28,175	34,735	○	あり	計画段階からまちづくり推進協議会の意見を聞くなどし、地域ニーズにあわせた公園施設整備ができ、またあわせて良好なアクセス性を確保することができたことで、事業効果を期待以上に発揮した。	H21.8.31
	指標4	神宮寺駅舎等年間利用者数	人/年	231,775	H15	256,960	H20	243,090	224,670	△	あり	少子化より駅乗降客数は減少傾向にあり、1年以内の達成見込みはない状況であるが、駅周辺整備により利用者から高い満足度を得ている。(指標5)	H22.8.31
	指標5	神宮寺駅利用者満足度	%	20.0	H19	50.0	H20	-	82.0	○	あり	まちづくり交付金を活用し、神宮寺駅舎だけではなく、南北交通広場、アクセス道路と一体的な整備を短期間で実施したことにより、満足度の向上が図られた。	H21.8.31
	指標6	地区内人口の減少率	%	-5.0	H15	-2.5	H20	-2.1	-2.4	○	あり	各種事業実施により良好な居住環境が形成され、地区内人口の減少を大きく抑制することができた。	H20.12.31
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期				
	その他の数値指標1												
4) 定性的な効果発現状況	・地域内に幹線道路が整備されたことにより、緊急自動車等の通行がスムーズになった。・駅前の交通が整序され、交通安全の向上が図られる。(完成見込) ・駅北口における通行車両の整序がなされ、既存住宅地内の隘路への通過車両が減少した。・神宮寺駅舎に市の情報発信コーナーを設けたことにより、住民との情報の共有化が図られた。 ・歩道を設置したことにより交通安全の向上が図られたほか、既存歩道との回遊性が生まれ散歩やジョギングを楽しむ人が増えている。												
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容	交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、まちづくり推進協議会を今後も継続的に開催し、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うためのモニタリングを実施する。その結果については、随時、市民に情報公開する。統計データ等によるモニタリング			実施状況			今後の対応方針等				
		モニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			まちづくり推進協議会の機能を地域協議会に移行し、今後のまちづくりの課題やその実現化に向けた意見交換を行う。また、フォローアップ完了後も毎年統計データ等の状況を確認する。				
	住民参加プロセス	同上			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●					
	持続的なまちづくり体制の構築	当地区では、平成15年度に発足したまちづくり推進協議会を今後も継続的に開催する。また、旧神岡町商工会が中心となって「地域振興活性化事業」により特産品の開発やグリーンツーリズムを含む観光ルートの開発とそれを紹介する町民ガイドの養成など様々な試みを行っていることから、こうした団体とも連携し、地域交流・地域活性化を図る。			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●					

様式2-2 地区の概要

神岡地区(秋田県大仙市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 2核の地域交流拠点の創造と、コンパクトな町の特性を活かした良好な居住環境の形成 目標① 来訪者との交流の場(駅周辺)、市民生活の交流の場(文教ゾーン)となる二つの核づくりにより中心市街地に賑わいを創出し、地域の活性化を図る 目標② 豊かな自然を活かした水と緑のネットワークを構築するとともに、多様なニーズに対応した優良で安価な住宅づくりを推進し、人口の定着を図る 目標③ 神宮寺バイパスからのアクセス道路の整備と、歩行者に優しい安全で楽しい回遊性のあるまちづくりにより来訪者の誘導を行い、地区の空洞化を防止する。	下川原地区の定住人口	単位: 人	0 H16	200 H20	53 H20
	中央公園利用満足度	単位: %	16.6 H16	33.2 H20	61.5 H20
	中央公園利用者数	単位: 人/年	0 H16	28,000 H20	34,735 H20
	神宮寺駅舎等年間利用者数	単位: 人/年	231,775 H15	256,960 H20	224,670 H20
	神宮寺駅利用者満足度	単位: %	20.0 H19	50.0 H20	82.0 H20
	地区内人口の減少率	単位: %	-5.0 H15	-2.5 H20	-2.4 H20



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 人口増加には至らなかったものの、人口減少を抑制することができた。 駅舎等年間利用者数は数値目標を達成しなかったものの、駅周辺整備自体は、利用者より高い満足度を獲得することができた。 中央公園は高い満足度を獲得し、利用者も目標を大きく上回ることができ、隣接する温泉施設やプール、図書館の利用増加にもつながり、相乗効果を発揮している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 中央公園の利用者が隣接の温泉施設利用につながるようなパック商品を開発するなどして、周辺施設のさらなる相乗効果を図っていく。 宅地分譲については、隣接する中央公園や幼保一体施設の完成にあわせて、再度当該地区の魅力PRしていく。 高齢者生活支援ハウスについては、福祉サービスのニーズを再整理するとともに、民間活力による施設建設も視野にいれて、今後も継続して当該地区のあり方について検討していく。 幼保一体施設整備の事業進捗により、神宮寺街区公園の整備事業を中止としたが、幼稚園の移転を受けて今後公園としての整備を図っていく。